

そこが親父のこだわりです

～先輩から技術を盗め、失敗を学べ～パネルディスカッション

協議会青年倶楽部の第1回活動として、総会終了後『そこが親父のこだわりです～先輩から技術を盗め、失敗を学べ～パネルディスカッション』が開催されました。青年倶楽部リーダーである木全氏の「先輩ブリーダーのこだわりを文字にしよう」というかねてからの強い思いもあり、今回開催に至りました。

木全氏はパネラー紹介の資料冒頭で下記のように思いを述べられています。

7～8年前に同業の近い世代の4名と秘密結社「豚変態の会」を立ち上げ、種豚生産の神髄を後世に残すべく、先輩ブリーダーのこだわりや経験談を文字にしようと企画するもうまくいかず。今回ひょんなことから国純会で実現し、関係者の皆様に本当に感謝申し上げます。この間に鬼籍に入られた方もいらっしゃると思いますが、本年、農業基本法の改正にともない、改めて「食料安保の観点から、国内で遺伝資源を確保し、純粋種豚の改良体制を維持していくことが重要」であるという認識を示されました。

今回の企画から、先輩方のさまざまなこだわりや豊富な経験に基づく最終奥義ともいえるものを、国純会青年倶楽部に代表される若手に伝えていくことは非常に重要で、まさに国益に叶うものであります。

今回コーディネーターをお願いした鈴木啓一先生と木全氏により進行されたパネルディスカッションは、時間がいくらあっても尽きることない濃厚な重みと深み満載で、職人技とも言える技術を持った先輩方からのお話には時として翻訳??も必要でしたが、私たちはその言葉から『テーブルミート』豚肉生産を支えて来た国産純粋種豚の維持改良を学び、実践していく義務があります。

青年倶楽部の今後の活動として、今回のパネルディスカッションでの発言についての疑問や質問を皆様からお待ちしております。次回パネルディスカッションでは、メンバーに消費者や食肉関係従事者にも是非参加していただき、疑問や質問に対する回答という形でも議論を深めていきたいと思っております。

※パネルディスカッションの資料及び議事メモは別添を御参照下さい。

変態とは動物の生育過程において形態を変えることを表します。

純粋種豚をいかにして我が国の風土と食に合う国産純粋種豚に形態を変えて来た方々の貴重なお話に感謝申し上げます。

部類の豚好きということで、豚の帽子をかぶって参加していただきました!!
コーディネーター、パネラーの皆様、御協力ありがとうございました。

コーディネーター	東北大学名誉教授 宮城大学客員教授	鈴木 啓一
コーディネーター	株式会社 シムコ	木全 誠
パネラー	株式会社 山田 B.F	山田 芳男
パネラー	五十嵐農場	五十嵐 清彦
パネラー	有限会社 木島農場	木島 敏昭
パネラー	独立行政法人 家畜改良センター	新 晋二
パネラー	群馬県養豚協会	横室 達弥
パネラー	一般社団法人 日本養豚協会	小磯 孝

